



PROBA DE CERTIFICACIÓN DE NIVEL INTERMEDIO

XAPONÉS

SOLUCIONARIOS

- **COMPRENSIÓN DE TEXTOS ESCRITAS**
 - **COMPRENSIÓN DE TEXTOS ORAIS**
-
-



読解

問題 1 (...../5)

Nº DO ENUNCIADO (arial 11 negriña)	例	1.	2.	3.	4.	5.
LETRA DO TEXTO	A	C	B	F	E	D

問題 2 (...../7)

Nº DO DOCUMENTO	例	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.
LETRA DO TEXTO	A	D	C	D	B	A	C	B

問題 3 (...../5)

Nº DO ENUNCIADO	例	1.	2.	3.	4.	5.
RESPOSTA	○	○	○	×	×	○

問題 4 (...../8)

Nº DO ENUNCIADO	例	1	2	3	4	5	6	7	8
LETRA	a	a	a	c	b	a	b	b	a



聴解

問題 1 (...../6)

Nº DO DOCUMENTO	例	1.	2.	3.	4.	5.	6.
LETRA DO ENUNCIADO/IMAXE	A	F	C	D	G	B	E

スクリプト

例) 今日午前2時ごろ国道39号で乗用車同士が正面衝突しました。この事故で、32歳の運転手が全身を強く打ち死亡しました。もう一方の乗用車を運転していた59歳の男性も重傷で病院に運ばれました。

1) 今日午後5時、都内の住宅街で自転車に乗っていた女性が車にひかれ、死亡しました。この事故は、自転車に乗っていた女性が電話で話しながら運転し、信号が赤であることに気づかず、前から来た車にぶつかったということです。

2) 今日午前10時ごろ、赤信号で止まっていた車に後ろから来たトラックが衝突し、車を運転していた女性がけがをしました。警察によると、わき見運転をしていたトラックの運転手が、前に止まっていた車に気がつかずに事故が起きたようです。

3) 今朝、JR 山陽線の踏み切りで大型トラックに電車が衝突しました。この大型トラックは、踏み切りを渡ろうとしたところ、突然ブレーキが壊れ、電車の線路内に立ち往生していました。そこに電車が来て止まれず、電車がトラックにぶつかったということです。この事故で JR 山陽線に 30 分の遅れが出ました。

4) 長野県で今朝、観光バスと大型トラックが衝突し、15人が軽傷で病院へ運ばれました。事故は見晴らしの良い四つ角で起こり、トラック運転手がケータイ電話を見ながら運転をしていたことが原因だったとみられています。この事故で道路は一時通行止めとなりました。

5) 今朝 8 時半ごろ、バイクが自動車に巻き込まれ、バイクを運転していた大学生の男性が死亡しました。この事故は、車を運転していた男性が右に曲がろうとした際に、バイクの存在に気が付かず、誤ってバイクを巻き込んでしまったということです。

6) 今日午後4時ごろ、軽自動車と自転車の衝突事故がありました。自転車が一時停止をせずに角から急に現れ、車が止まれずにぶつかったようですが、自転車を運転していた人にけがはなかったということです。



問題 2 (...../5)

例	テレビ
1.	今朝 11 時/11 時
2.	今日(中)/本日(中)
3.	沖縄ツアー
4.	15 時 30 分
5.	12 番カウンターの前

スクリプト:

1

はい、吉田です。ただいま出かけています。ピーという発信音のあとにメッセージを残してください。

もしも、おはようございます。ヨドバシカメラの田中と申します。お世話になっております。先日、吉田様がお買いになったテレビの配送についてお電話させていただきました。本日の午前中に配送をご希望でしたので、係の者が今朝 11 時に吉田様のお宅に伺いましたが、残念ながらどなたもいらっしゃらなかったようです。こちらの商品、次回いつお届けいたしましょうか。ご希望の日をお電話でご連絡いただけますでしょうか。今日中にご連絡いただけますと、今週中に商品をお届けできます。ただしご連絡が明日以降ですと、今週中のお届けは不可能となってしまいますので、ご注意ください。それでは、よろしくお願いいたします。失礼いたします。

2

はい、高橋です。ただいま電話に出られません。ピーという発信音のあとにメッセージをお願いします。

もしも、いつもお世話になっております。日本ツーリストの前田と申します。高橋様の携帯電話でよろしいでしょうか。この度は沖縄ツアーにお申込みいただき、誠にありがとうございます。行きの飛行機の出発時間に変更になりましたので、ご連絡いたしました。当初 14 時 30 分羽田空港出発となっておりますが、1 時間遅れて、15 時 30 分の出発となります。急な変更、大変申し訳ございません。なお、集合時間も 1 時間遅くなり、14 時となります。集合場所はすでにお知らせいたしましたが、12 番カウンターの前となります。よろしくお願いいたします。何かご質問がございましたら、こちらまでご連絡いただけますでしょうか。それでは、どうぞよろしくお願いいたします。失礼いたします。



問題 3 (...../7)

Nº DO ENUNCIADO	例	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.
RESPOSTA	○	○	×	×	○	○	×	○

スクリプト:

みなさん、こんばんは。クリス伊藤です。スペイン生まれの私がスペインに関するご相談にお応えします。さて、今日の相談は 40 歳の A 子さんからです。ではさっそく A 子さんからのメールをご紹介します。

「初めまして、クリスさん。毎週スペインで番組を聞いています。主人の仕事の都合で 3 か月前マドリッドに来ました。スペインに来る前、日本で 2 年間スペイン語を勉強しました。具体的には、毎日リスニング用の音声聞いていました。その CD が言っていることはわかるのですが、実際に買い物とかでスペイン人との会話になると、相手が言っていることが全然わかりません。2 年間も勉強してこちらに来たので、結構ショックで、外に出ることも嫌になってきました。どうしたら、会話が聞き取れるようになりますか。教えてください」と言うことです。

うーん、なるほど、学習用のリスニング教材だと聞きとれるけど、会話になると相手のスペイン語がわからないということですね。こういう悩みを持っている人は結構多いと思いますね。やはり実際の会話では、人によって話すスピードがちがってきます。それに学習用の音声は、学習者でもわかるように、ゆっくり丁寧に話しています。でも実際にそのように話す人はほとんどいませんからね。

うーん、それでやはり会話が聞き取れるようになるには、生のスペイン語を聞く必要があると思います。おすすめはスペインドラマや映画を観ることです。もちろんね、ニュースもいいんですが、ニュースの場合単語が難しくなるので、まずはドラマや映画を見る方がいいと思います。はじめはより集中できるように、ヘッドホンをして聞くといいと思いますよ。それで少し慣れてきたら、ヘッドホンをせずに、雑音のある環境でリスニングをすることをおすすめします。日常の会話は静かな場所だけでするわけではありません。だから現実にあるような雑音のなかでスペイン語を聞くことが大切だと思います。

それから最後になりましたが、日常生活での会話が理解できるようになるためにはとにかくスペイン人と話すことです。生のスペイン語を聞いて、彼らのスペイン語に慣れることです。スペイン人はもともと人と話すのが好きな人が多いので、わからないときはわからないと言うと何回でも言い直してくれるはずです。A 子さん、怖がらずに頑張ってください。



問題 4 (...../7)

Nº DO ENUNCIADO	例	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.
LETRA	a	a	c	b	a	b	b	b

スクリプト:

リポーター(以下リ):こんばんは。今日は食品ロスについて考えます。食品ロスとは、お店で売れなかったり、家で買いすぎてしまったりして、本当はまだ食べられる食べ物を捨ててしまうこと、食べ物を無駄にすることを言います。東京都では食べものを無駄にしないように「食べきり運動」を始めました。今日はこの「食べきり運動」について太田さんからお話をうかがいます。太田さん、よろしくお願いします。

太田 :よろしくおねがいします。

リ :まず、食べきり運動が始まったきっかけについて、教えてください。

太田 :はい。この運動をはじめたきっかけは家庭からでる燃えるごみの半分が食品だったからなんです。これは他の県に比べて非常に高い割合なんです。それで、食品ロスを減らすためにこの運動を始めることにしました。

リ :たとえば、どんなことをされているんですか。

太田 :はい、食品を買うとき、皆さん、新しい日付の物を買いたいという人が多いと思うんですが、わざと古い日付の物を買うようにお願いしています。

リ :そうですね。みんなが新しい物を買ったら、古い物は捨てなければいけないですからね。食べ物を大切に作る、ということですね。

太田 :ええ、そうです。また、残り物で作るレシピのコンクールも始めました。たとえば、残ったサラダをスープにしたりするんです。

リ :へえ、それはいいアイデアですね。ところで、太田さん、レストランでも食べものがたくさん捨てられていると聞いたんですが。

太田 :はい、日本では食品ロスは年間約 632 万トンあるんですが、その中の約十分の一の、62 万トンはレストランで食べ残された料理なんです。

リ :それはもったいないですね。

太田 :はい。ですから、レストランにも食べきり運動に協力してもらっています。それらのレストランでは、注文の時に、料理の量を多くするか少なくするか聞いて、お客さんが食べられる量の料理を出してもらっています。

リ :それはいいですね。

太田 :それから、残った料理は持って帰ってもらうようにしています。日本では残った料理を持って帰ることはあまりしませんよね。でも、これは恥ずかしいことではないし、中国、アメリカなどでは普通の習慣なんですよ。

リ :それはいいことですよね。他にはどんなことをされているんですか。

太田 :小学校で食べものの大切さを教えるためにアニメを上映したりしています。今年から、「食べきり運動ダンス」も始めました。歌とダンスで楽しみながら、食べき



ることの大切さを教えています。ダンスの後「家族がつくってくれたおいしい料理、これから残さないでたべてね。」と言うと、子供たちは「は～い」と大きい声でこたえてくれるんです。

リ :それはすばらしいですね。それで太田さん、食品ロスはどのくらい減ったんですか。

太田 :はい、この運動を始めた年には1割、今年はみなさんのご協力のお陰で、3割減りました。この運動はみなさんの気持ちひとつで今日から始めることができる運動なんです。

リ :じゃ、私も早速今日から始めてみます。太田さん、今日はどうもありがとうございました。